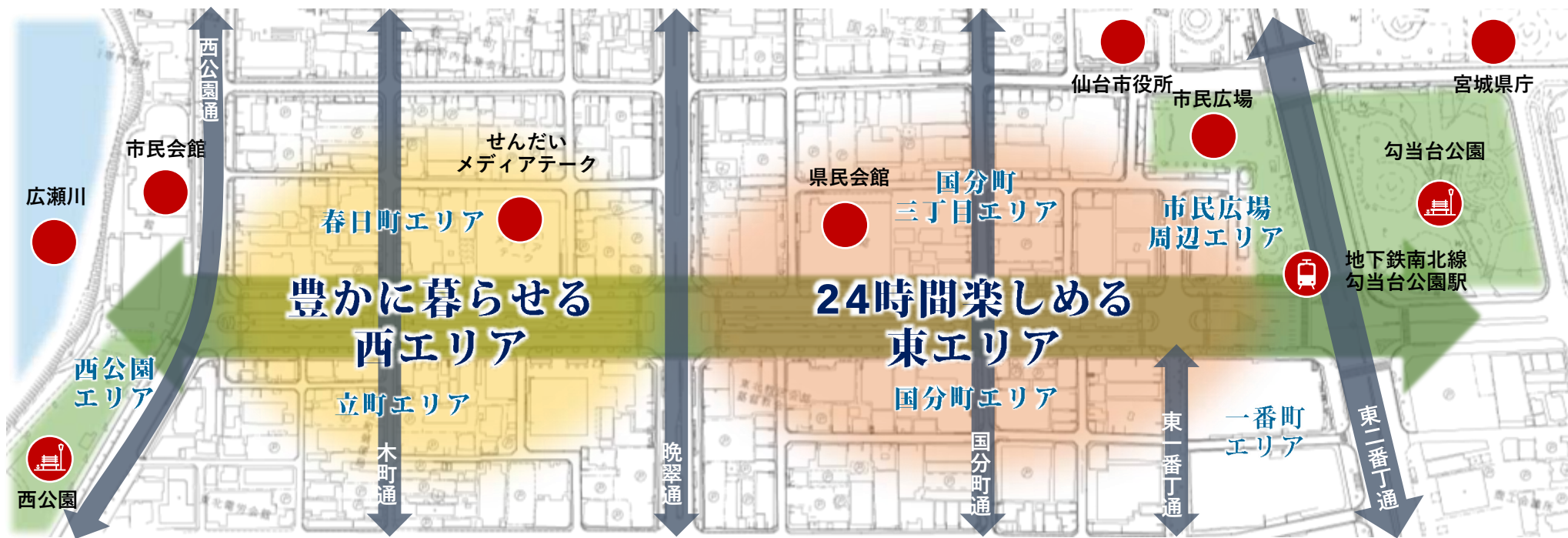


アップグレード戦略の展開の考え方



イメージ図

※今後、各エリアの特徴等を整理しながら、場所の特定が可能なプロジェクトについては、地図上にプロットしていきます。



2030年までに実現したい空間イメージ

①「豊かに暮らせる西エリア」の休日昼間



※これまでの試行と議論をもとに作成した現時点のイメージです。
引き続き検討を重ね作成します。

2030年までに実現したい空間イメージ

①「豊かに暮らせる西エリア」の休日昼間

<解説編>

- 定禅寺通が日常的なコミュニティの場になっています。
- 近隣の方を中心に子連れや年配の方等も訪れます。
- 休日には個性的なお店が出店するマルシェなどが開催されています。
- 西公園へのつながりが意識された、木でできたベンチや遊具などが置かれています。

テーブルやベンチとしても利用できるツリーサークル

様々な出店やパフォーマンス等の場となるキューブ（木製の路上貸し出し空間）

イベント時には木製の遊具等を置き多様な活動を誘発

休日には軒先を貸し出し、いつもと違ったサービスを提供

イスやテーブルを置いて憩いの空間づくり

※これまでの試行と議論をもとに作成した現時点のイメージです。
引き続き検討を重ね作成します。

2030年までに実現したい空間イメージ

②「24時間楽しめる東エリア」の平日夜間



※これまでの試行と議論をもとに作成した現時点のイメージです。
引き続き検討を重ね作成します。

2030年までに実現したい空間イメージ

②「24時間楽しめる東エリア」の平日夜間

<解説編>

- 沿道不動産オーナーやテナントを中心として空間が活用されています。
- 公共空間活用等の収益をまちづくりに還元する仕組みづくりができています。
- 仕事帰りの待ち合わせや“0次会”的に利用する空間になっています。
- 国分町とのつながりを意識したおしゃれなファニチャーが置かれています。

上層階テナント等やチャレンジショップなどが出店可能な路上の常設コンテンツ

街のイメージを一体的にする、連続したオーニングや色彩。

街に開かれたビュースポット

快適に歩き回るための十分な歩行空間

天気や季節に左右されずケヤキ並木を楽しめる歩道部分ににじみ出たカフェ等のテラス席。

※これまでの試行と議論をもとに作成した現時点のイメージです。
引き続き検討を重ね作成します。